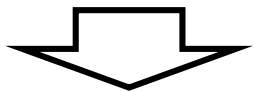


令和4年8月の大雨により堆積地に崩壊土砂及び枝条等が流出し、森林作業道の暗渠排水に流入・閉塞したことで路体崩壊が発生。継続的に利用することを踏まえ、流水断面を大きく確保できる洗越工（河床路）の設置を検討した。

R4検討事項

- ・重機等が通行するため、車道幅員を3.5mに変更し荷重分散を図る
- ・河床幅により延長が容易に変更可能な木製枠（O&Dウッド）を上下流部に設置することで中詰材の流出防止と常水を処理できる透水性構造とする
- ・必要に応じて河床路の前後に路盤材を敷設する



R5以降検討事項

- ・下流部水叩き（根固工も兼ねる）の設置
- ・経年変化による経過観察を引続き実施

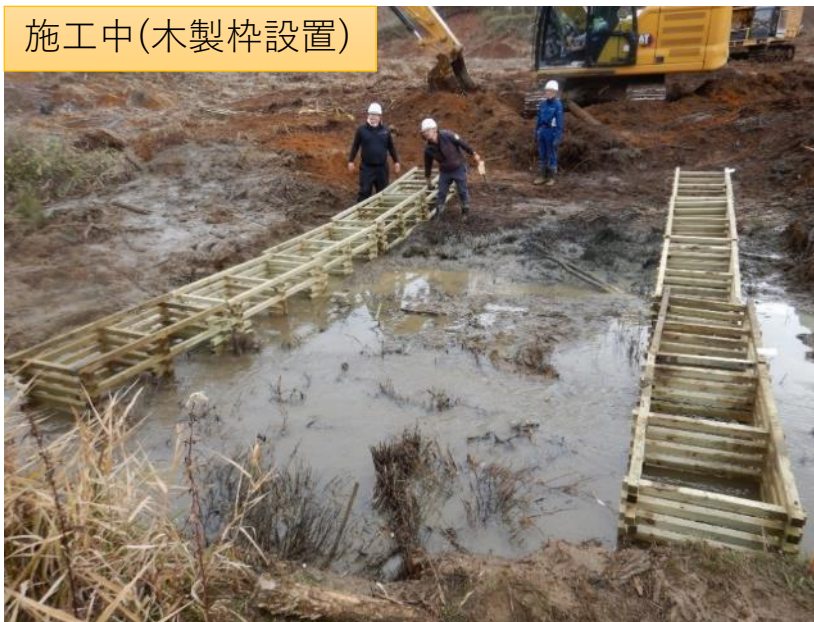
施工中(木製枠組立)



完成直後



施工中(木製枠設置)



完成直後



袋型根固工ボルトユニット

